

## 編 集 後 記

『放送大学研究年報』第20号をお届けします。本号には、10篇の論文と1篇の研究ノートが寄せられました。社会福祉論から古文書学まで内容は多岐にわたっており、全体を通読することは容易ではないかもしれません。しかし、一瞥するだけでも、本学のカリキュラムが実に広い範囲をカバーしているのを実感することはできるでしょう。

ここ数年、政治や経済の構造改革が声高に語られてきましたが、その具体的内容は必ずしも明らかではありませんでした。ただ、構造改革の名の下に特殊法人改革が進められ、放送大学も民営化の道をたどらざるをえなくなったことは周知のところですが。1年後に第21号が刊行される時には、確実に放送大学は特殊法人から特別な学校法人に衣替えしているでしょう。

しかし、第19号の編集後記でも申しましたように、放送大学の組織形態がどう変わろうと、大学人の使命が教育と研究の道を着実に歩むことであるのは変わりません。その限りで、『放送大学研究年報』の存在理由も変わらないはずですが。ただ、古い革袋に新しい酒を注ぐ必要はありましよう。1年後には、大学院修士課程の修了者も誕生しているはずですが。新しい時代に応じた年報のあり方について、本号を読まれた方からも新鮮な意見が寄せられることを期待しております。

2003年2月

### 放送大学研究年報編集委員会

委員長 阿部 齊  
委員 酒井豊子・大曾根寛・波多野誼余夫  
佐藤仁美・六本佳平・山田辰雄  
森谷正規・東 千秋・柏原啓一  
島内裕子・岩村 秀・吉岡一男  
西原 浩

---

### 放送大学研究年報 第20号 平成14年

平成15年3月26日 印刷

平成15年3月31日 発行

編集兼発行者 放 送 大 学

〒261-8586 千葉市美浜区若葉2丁目11番地

電話 043-276-5111 (代表)

印刷者 株式会社こくぼ

〒260-0843 千葉市中央区末広3丁目3番10号

---